

No.	市への意見・要望	担当部署	回答・対応
1	いらなくなった家具などをもらってくれる人を探したい	環境課	ご家庭での家具などの不用品を譲り渡す仕組みとして、市が直接、仲介することはしていませんが、主に「リユースショップの出張買取を利用する方法」や「フリマアプリなどを利用して、必要とする方を探す方法」があります。ご自身の状況に合わせて、活用をご検討ください。 なお、民間リユース事業者との連携など他自治体での先進事例について調査し、市でも導入の可能性を検討していきます。
2	温泉の割引券などの配布を希望します	観光課	市民の健康増進と世代間交流を図るため、市内の日帰り温泉施設の割引券を配布していましたが、費用や業務において負担を伴うことから参加協力事業者が減少しており、また、割引券の利用率も減少していたことから、令和6年度をもって終了させていただいています。市が運営している温泉施設では、市民料金を設定して市民の皆様がご利用しやすいよう配慮していますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
3	渋Payを使える店舗をもっと増やしてほしいです	DX推進課	渋Pay加盟店を増やす取組として、タブレット端末の購入費用などの渋Pay利用環境整備に対して、補助金を交付しています。 また、市広報の令和8年8月号において、加盟店登録の募集記事を掲載する予定です。 加盟店には、決済額の1%相当額を地域貢献協力金として負担いただいておりますが、他のキャッシュレス決済の手数料（3.24%が主流）と比較すると、安価である旨を広く周知し、加盟店の増加に努めます。
4	犬のふん害ホント大変です！	環境課	犬の適正飼育についての問い合わせや相談は、群馬県動物愛護センターが受け付けています。恐れ入りますが、群馬県動物愛護センターにご相談いただきますようお願いいたします。 なお、被害を受けている場所を教えていただければ、市でも状況確認をさせていただきます。このほかにも、飼い主のマナー向上を促すため「イエローチョーク作戦（道路上に放置された犬のフンを黄色のチョークで囲むことで、迷惑していることを飼い主に知らせ、犬のフンの放置をなくすことを目的とした取り組み）」の支援を行っており、希望者に黄色のチョーク（2本1セット）を配布しているところです。
5	以前やっていたお笑いライブをまたやって欲しい	総合政策課	以前の「お笑いライブ」は、渋川市まちづくり財団の自主事業として実施したものとなります。 ご意見につきましては、渋川市まちづくり財団に共有させていただきます。
6	広報を全世帯に配布してほしい	市民協働推進課	渋川市に住民登録がある世帯には、自治会を通じて広報の配布を依頼しています。

7	LINEで広報を読む事が多いのですが、周りの方々はあまり知らないのもう少し告知して下さい	<p style="text-align: center;">広報課</p>	<p>LINEやPDFデータで読むことができる広報紙につきましては、毎月発行日に、市公式LINEのほか、渋川ほっとメール、市公式Xでお知らせを行っており、今後も継続いたします。</p> <p>いただいたご意見を参考に、LINEでの広報の読み方について、広報しぶかわ紙面を活用するなど、更なる周知方法を検討してまいります。</p>
8	リサイクル、リユース。捨てないで活かす方法を推進して頂きたい	<p style="text-align: center;">環境課</p>	<p>市がこれまで行ってきたリサイクルやリユースの取組として、例を挙げると主に以下のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公共施設での小型家電などの資源物の拠点回収 ②しぶかわ環境まつりでのリユース品の回収コーナーの設置 ③フードドライブ（ご家庭で余っている賞味期限内の食品を集めて、子ども食堂などに寄付する活動）の実施 <p>これらの取組を継続していくほか、今後の取組として、民間リユース事業者との連携や、広報紙による定期的な啓発など「ごみとして捨てないで譲る・資源にする」ことを身近に感じられるような仕組みづくりについて検討したいと考えております。</p>